

脳科学研究科 学問領域と組織構成

現代の最先端脳科学は、理学・医学・薬学など広範囲に亘る学問領域をカバーしている。脳を理解するためには、分子、細胞内小器官、細胞、神経回路といった様々な階層における知見を蓄積することが非常に重要である。本研究科は、全領域の研究部門を過不足なく配置する為に、分子細胞脳科学分野・システム脳科学分野・病態脳科学分野の3つの分野を構築し、以下の図にあるように、複数の部門を配備した。分野間の知識の共有、共同研究を通じて連携を強めることにより、研究科としての研究力を向上させるのみならず、大学院生が複眼的な視点から脳科学について学び、そして研究成果を上げられるように考慮している。

